



塩 史子 議員

ふるさと納税で経済効果を創出せよ

遠藤町長／特典は導入していない

塩

①過去3年間 23、24、25年度、広野町に「ふるさと納税」はいくらかですか。

町長

①平成23年度に34件で410万円、平成24年度に15件で91万円、平成25年度に16件で66万円です。

②札状と広野町の復興を伝える冊子などを送付することで感謝の気持ちを伝えたいと考えています。

③広野町では多くの方々に多くの寄附金をしていただけるようにあるいは、寄附をしたくなるような方策を考へるべきではないですか。



コンパクト化が協議される広野駅舎

広野駅を改築せよ

遠藤町長／駅舎コンパクト化で協議

塩

広野町が双葉郡の復興の玄関口と名実ともに自信をもつて言えるように駅を改築するの今が最良の時と考えます。

町長

①広野駅の駅舎は、昭和12年12月に完成しています。この線橋は、昭和50年11月に完成しています。

②駅舎はいつ建設され、この線橋はいつ設置されましたか。

②平成25年度の助成件数は193件で、助成額は80万6558円です。

③本年度重点事業となつている「JR自由通路新設事業」と駅とは関係ありますか。

③JR水戸支社と通路の構造などについて協議しています。

④駅の改築を町長はどのように考えますか。

また、自由通路は駅構内に直接出入りできるものではありません。

⑤JRで行う既存の駅舎をコンパクト化する事業での整備を協議していただきます。

④JRで行う既存の駅舎をコンパクト化する事業での整備を協議していただきます。

無人ヘリ農薬防虫剤散布を実現せよ

遠藤町長／事例を調べ、検討

門馬

町の基幹産業である農業も、少子高齢化の影響を受け60才以上が大部分ですので、農作業に心労をいただいている方もたくさんいます。特に動噴を背負つての農薬殺虫剤の散布作業が大変だと聞いています。

町長

無人ヘリコプターにより病害虫防除を実施するには、解決すべき課題があります。水稲の品種により防除時期が違つたため、品種が混在していると作業効率が悪くなること、また、特別栽培や有機栽培等の栽培管理を行う農家においては防除に参加しないこともあり、農薬の飛散問題も懸念されます。

この現状を解消し、本町の農地農家の維持発展のためにも、無人ヘリ散布事業の制度設計、実現にむけての支援策を講じる考えはありますか。

現在、無人ヘリコプターによる防除作業に対する県の補助事業等防除支援はありません。

無人ヘリによる病害虫防除をしている事例を調べ、関係機関と検討して行きます。



町内に多く建設される宿舎

作業員への課税策はないか

遠藤町長／極めて難しい内容

門馬

現在2600人が町内の施設を宿泊拠点として経済活動、労働をして対価を得ているわけですから、応分の負担を求めるところはできませんか。

町長

地方税法に定める税目以外に、条例により「法定外税」を新設することは認められていますが、作業員の所得を課税標準として法定外税を新設することは、個人住民税との二重課税となり、一方、所得以外のもので課税の根拠として新たな税目を新設するとともに国の同意を得ることは、極めて難しい内容です。

何か方策を調査研究し、町財政に資する条例制定の有無を伺います。



門馬 巧 議員